

名 称	平成24年度 第1回 ほどがや市民活動センター評議会 議事録	
日 時	平成24年10月23日(火) 18:00~20:00	
場 所	ほどがや市民活動センター (アワーズ) ミーティングスペース	
出席者	評議会委員	浅井 経子 委員 (八洲学園大学 生涯学習学部 生涯学習学科 教授) 竹迫 和代 委員 (参画はぐくみ工房 代表 兼ファシリテーター) 高見沢 実 委員 (横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授) 橋本 淳 委員 (保土ヶ谷区連合町内会長連絡会 会長) 和智 英人 委員 (社団法人 横浜青年会議所 理事 公民連携推進委員長)
	保土ヶ谷区役所	地域振興課長 日詰 雄治 地域振興課 生涯学習支援係長 森脇 美也子 同 生涯学習支援係 橋本 幸枝 同 生涯学習支援係 茜ヶ久保 聡子
	協働運営会議	代表 小林 由美子
	管理運営業務 受託者 アクティオ(株)	アクティオ株式会社 東日本事業部長 岡部 禎之 アクティオ株式会社 東日本事業部 藤原 さなえ ほどがや市民活動センター センター長 岩堀 祐一 同 スタッフ 阿野 秀一郎 同 スタッフ 中津留 憲一 同 スタッフ 大谷 敦子
欠席者	小倉 敬子 委員 ((公財)かわさき市民活動センター 理事長)	

議 題	(1)平成24年度ほどがや市民活動センターの運営及び業務 a 平成24年度上期 ほどがや市民活動センター活動報告書について b 平成24年度上期 施設利用状況について c 平成24年度上期 事業実施状況について d 平成24年度上期 街の学習応援隊 活動状況について (2)ほどがや市民活動センター協働運営会議から (3)評価シート記入 (4)その他 意見交換
資 料	1.平成24年度 ほどがや市民活動センター 評議会委員名簿 2.平成24年度上期 ほどがや市民活動センター 活動報告書 3.平成24年度上期 施設利用状況 4.平成24年度上期 事業実施状況 5.平成24年度上期 街の学習応援隊 活動状況 6.ほどがや市民活動センター 協働運営会議 資料 7.平成24年度上期 ほどがや市民活動センター 活動報告 評価シート

***会議成立** 委員6名中、5名が出席。
ほどがや市民活動センター評議会会則第8条第2項に基づき、定数の過半数を充たしている為、会議は成立した。

***議長選出** 【議長】小倉委員 【副議長】浅井委員が選出された。第1回は、小倉議長が欠席の為、浅井委員が議長の職務を代理することとなった。

議題(1)平成24年度 ほどがや市民活動センターの運営及び業務

a. 平成24年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書について

a-1 (資料2)「平成24年度 上期 ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「場の提供」、「情報の提供」、「相談・コーディネート」を報告

＊場の提供⇒今年度は特に夜間の利用拡大に努めることに重点を置く。

・研修室・和室・ミーティングの利用は、件数、人数とも去年同期比で増加。曜日別の利用では水曜日・金曜日が多く、稼働率では木曜日が高い。時間帯別では、午前は減少、午後は横ばい、夜間が50%増加。

＊情報の提供⇒サークルガイド(第1刷・第2刷)350部発行。街の学習応援隊ガイドブック(第8期4刷)620部発行。区内各施設と市内17区市民活動センターに配布。

・サークルガイドと街の学習応援隊ガイドブックは、年3回更新。また、情報紙は年4回、メルマガは毎月15日発信。

・近隣の大手スーパー「イオン天王町店」の掲示板とパンフレット・ラックにアワーズ発行のチラシ配架。

＊相談・コーディネート⇒前年度から総件数で16件減少。個人の相談と電話での相談が減少。

・主な相談内容は、「学習や活動の人材・団体を探している」が全体の約36%、「センターの施設利用・事業」が15%、「講座・イベントを探している」が11%。

・団体の相談は、活動団体、地域団体、地域の施設からが多い。個人の相談では60才以上、次いで40～59才の方々からの相談が多い。

【委員からの質問とアワーズからの回答】

・情報の受発信「課題」の中に、応援隊を拡大という表記がある。活動状況の写真をホームページに掲載することを拡大していきたいということか。

⇒利用者からの意見で、「ホームページでの活動様子がわからない。」という声があり、応援隊の「作品」「演技」などの写真をアップしている。現在は、登録数全体の約1/3程度アップ。

【委員からの意見】

・夜間利用の拡大を図る場合、ターゲットを考え、そのターゲットに合わせた手法を選択していけば、設定した目標が達成できるだろう。

・夜間利用の拡大として、若者、女性向けに特化した講座などを実施してはどうか。例えば、若者向けの起業に関するものや、ソーシャルベンチャーの講座など。

・年齢層に合わせた広報の仕方が望ましい。(若年層にはブログやツイッターなど)

a-2 (資料2)「新たな担い手の裾野を広げる」については下期事業実施の旨説明

(資料2)「平成24年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「サークル・団体の活動・事業・運営を支援する」を報告

＊暮らしの豆知識講座⇒「囲碁入門講座」、「会計簿作成パソコン講座」、「江戸しぐさに学ぼう！」

(資料4)「平成24年度 上期 事業実施状況」-1、-2、-3に基づき、実施状況を説明

＊IT相談会⇒(資料4)「平成24年度 上期 事業実施状況」-4に基づき、実施状況を説明

【委員からの質問とアワーズからの回答】

・「会計簿作成パソコン講座」は、何のため、誰のために実施しているのか。

⇒自治会、町内会の運営に役立てもらう為、実施している。また、登録団体の活動支援も目的としている。

・講座を実施する場合、受講料の有無で申込みに差がでるのか。

⇒無料の方に受講者が集まりやすい。会計簿作成講座など、対象が絞られているものに関しては、広報により力を入れないと、受講者が集まりにくいと感じている。

【委員からの意見】

・「暮らしの豆知識」は、テーマと実施内容があってないように思う。

<p>a-3 (資料2)「平成24年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「交流の機会を創出する」を報告</p> <ul style="list-style-type: none"> *利用者交流会(しゃべろうかい)⇒(資料4)「平成24年度 上期 事業実施状況」-5に基づき、第7回しゃべろうかい、第8回しゃべろうかいの実施状況を説明 *生涯学習フォーラムへの参画⇒(資料4)「平成24年度 上期 事業実施状況」-6に基づき、12月1、2日参加予定を説明 <p>【委員からの質問とアワーズからの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者交流会というのは何か。 <p>⇒利用者の情報交換と交流をするための集まりで、活動の情報交換、運営の悩みなどを話し合い共有している。会の内容は、あるテーマについてのお話し、音楽タイム、グループトークの3部構成となっている。</p> <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題を解決する交流会も良いと思う。
<p>a-4 (資料2)「平成24年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「街の学習応援隊事業」を報告</p> <ul style="list-style-type: none"> *PR講座⇒(資料4)「平成24年度 上期 事業実施状況」-8、-9に基づき実施状況を説明 (資料5)「平成24年度 上期 街の学習応援隊 活動状況」に基づき、登録数、登録内容、成立状況、依頼元分類を報告 ・登録数は109件(9月末現在)。依頼は68件(成立43件、不成立19件、未決6件)。 ・自治会・町内会からの依頼が大幅に増加している。 <p>【委員からの質問とアワーズからの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応援隊の登録について。また、応援隊を利用した依頼者からのクレームはないのか。 <p>⇒登録はいつでもでき、2年に1回更新している。</p> <p>⇒応援隊と依頼者の双方から、活動報告書を提出してもらい、実施状況を確認している。現在、特にクレームはないが、双方の確認漏れなどで少し行き違いがあるときもあるので、応援隊の研修会では、活動の心得などを伝える機会も設けている。</p> <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応援隊をうまく育てていくことが大切である。 ・街の学習応援隊は、大変良い仕組みだ。色々なイベントで利用できれば良い。
<p>a-5 (資料2)「平成24年度上期ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、「区民利用施設との連携」「広報・周知」を報告</p> <ul style="list-style-type: none"> *各施設との連携事業⇒(資料2)「平成24年度 上期 ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、施設との連携状況を説明 ・川島地域ケアプラザと共催で応援隊PRを実施している。 ・アワーズ、区社協、こっころで毎月定例会を実施している。 ・下期、今井地区センターと共催の講座を企画している。 *情報紙「アワーズ」発行、メールマガジン発行、HPの管理・情報発信⇒(資料2)「平成24年度 上期 ほどがや市民活動センター活動報告書」に基づき、実施状況を説明 ・情報紙は、今年から取材を増やし、団体の活動内容、応援隊の活動の様子を紹介している。また、メールマガは、情報紙でタイミング的に掲載が難しいものをカバーし、タイムリーな情報提供に努めている。 ・ホームページは色覚障害のある方にも確認しやすい文字と色のデザインにリニューアルした。

a-6 (資料2)「平成24年度上期ほ도가や市民活動センター活動報告書」に基づき、「評価・検証」を報告

＊協働運営会議の事務補助

・会議に出席し連携を図っている。また下期はスキルアップ講座を企画している。

【委員からの意見とアワーズからの回答】

・情報紙はどのような方が読んでいるのか。

⇒配布先が横浜市市民活動支援センター、市内17箇所の区民活動支援センターという事から、市民活動をされている方が多いようである。また、駅のPRボックス(区内相鉄線各駅)に置いているので、駅を利用する方々も読んでいると思われる。

・メルマガの登録者数はどのくらいか。また、どのような方法でアドレスを登録しているのか。

⇒登録者は、約 270 人(9月末現在)。業務の上で名刺を交換した方、講座に出席された方など。

・ホームページがどこから検索され、アクセスされているか分析しているのか。

⇒ホームページのアクセス数などの管理は、外部委託業者が行っている為、細かく分析はできていない。

【委員からの意見】

・どの様な方が、どこからアワーズのホームページを検索しているかを知ることが大切である。

・メルマガ登録数270とのことだが、数値目標を立て、その為にはどうすれば良いかを考えるとよい。

・地域の方にアワーズを知っていただくには、ターゲットを絞り、対象者に合わせた広報をすればよい。

・メルマガなどは市民活動をしている方の利用が多いが、裾野を広げるなら、発行数が多い保土ヶ谷区版を上手く活用すればよい。

議題(2)ほ도가や市民活動センター 協働運営会議から

(資料6) I. 平成24年度 上期 活動報告に基づき報告

・総会5/12開催。今回の総会の重要案件は第3号議案(会則の一部改正)の可決。

・拡大ミーティングは、役員だけでなく各プロジェクトのメンバーを入れ、実施している。

・上期全体会8/25開催。

・第8回、第9回利用者交流会(しゃべろうかい)実施。テーマは防災・減災。参加者は 30 名ほど。

II. 平成24年度 下期 活動計画を説明

【委員からの質問と協働運営会議からの回答】

・参加者をもっと増やしたいのか。

・地域解決型の方が、交流会として良いのではないか。

⇒参加人数を増やしたいと思う一方、あまり多すぎてもまとめる側が大変であるのが現状。ただ、定員が登録者の 10%で意義のあるものなのかということも今後の課題である。

参加者のアンケートでは、満足度が高い声が多いが、テーマや内容において、また違う方法があるのではないかと模索している所。また、しゃべろうかいは利用者に限られており、地域を育てることと一線を画している。

議題(3)評価シート記入

議題(4)その他 意見交換(全般的な質問、意見交換は各事業の説明の中で行った)

以上